

- 大体よいが、最後の節あたりで、それぞれの文がどの結果を指しているのか、どうも今一わからない気がします。
 - ページ制約が厳しいが、もし一文に詰め込むのが無理そうだったら、「.....はNP困難であった」みたいにハッキリ言うのは諦めて(現状、言おうとしてるけどちょっと言葉が足りなすぎて結局言えてない感がある)、差し支えない範囲で「.....についても調べた」のようにしてしまうのも手かも。
-
- いくつか言いまわしを書き換えました。ちょっと意図がよくわからなかった所は適当に内容を想像して書き換えてしまった所もあるのでよく見てみて下さい。
 - 1節の最後の段落と2節の最初の段落を勝手に入れ替えてしまった。意図に合っているか、読んでみて下さい。(2節は「これまでに〇〇が判っていたので××をやろうと思った」という、研究の状況説明であって、何か新結果そのものを述べようとしてはいない、という理解で良いですね?)
 - 「警備すべき点」を「point」と呼んでいたようだが、こういうあまりに一般的すぎて用語として捉えにくい言葉にしない方が無難だと思う。Coeneらに合せるとcustomerだが、我々は問題をpatrollingと呼んでしまっているのでこれは使いにくいですね。とりあえずvertexにしておきました(これもまだやや一般的すぎかもしれないが)。
 - 指示語(itとか)が何を指しているのかわからない文が多かった。(多分、一度書いてから前の文を書き換えたためか? 気をつけよう。)
 - 2節に(4) trees with uniform idle timesとありますが、この場合って何か示せていたのですたっけ.....?
 - 4節で言おうとしていることが何なのか結局よくわからなかったのでこだけコメントが残っています.....。「時刻指定」の問題の定義をしている積りなら、もう少しハッキリ説明する必要がある気がする。でもまあページ制約もあるし、或る程度ぼんやりした書き方でも仕方ないかもしれませんね。